

## 令和2年度 第2回 三重県議会「議員勉強会」開催要領

### ■目的

新型コロナウイルス感染症については、新規感染者数が減少傾向にあるとともに、医療従事者へのワクチンの先行接種が開始され、今後その接種対象者が拡大されて行くこととなっている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大については引き続き予断を許さない状況であると考えられ、「新しい生活様式」の下、長期にわたる年単位の対応が必要であると思われる。

このような状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症が今後の地域社会・経済に与える影響やウィズコロナ期における地方議会の課題、その在り方等について理解を深め、今後の県議会での議論に資するため勉強会を開催する。

### ■日時・場所

令和3年3月23日（火） 13：00～14：30

三重県議会議事堂5階 本会議場

※Web 会議システムを活用し、講師にはオンラインで説明、質疑に対応いただきます。

### ■講師

河村 和徳（かわむら かずのり）氏

（東北大学大学院情報科学研究科 准教授）

### ■演題

「ウィズコロナ期における地方議会の在り方について」

#### 【講師紹介】

河村 和徳（かわむら かずのり）氏

静岡県生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、同大学院法学研究科博士課程を単位取得退学。慶應義塾大学法学部専任講師（有期）、金沢大学法学部助教授を経て現職。

専門は、政治意識論・地方政治論。著書に「東日本大震災と地方自治」（ぎょうせい、2014年）など。被災地における政治・行政の課題についての議論を行う一方、宮城県行政経営推進委員会の復興と行財政改革との両立についての検討を行っている。

令和3年1月27日に全国都道府県議会議長会デジタル化専門委員会座長に就任。

